

提 言 6

■史上最大の極東大プロジェクト

日韓海底トンネル

総工費4兆円。W杯日韓共同開催をはるかに上回る経済波及効果

関係省庁
運輸省
建設省
国土庁
外務省
大蔵省

韓国の金大中大統領が98年10月上旬、「日本文化の開放」を表明したことを受け、韓国政府は映画や音楽などの段階的解禁を発表した。同年12月には北野武監督の「HANA B.I」を皮切りに黒沢明監督の「影武者」などが上映された。ソウルの街には、すでに日本の映画のビデオがあふれているのだ。

いま日韓両国の経済状況は最悪だが、文化交流が積極的に推進されることによって、景気を刺激し経済の建て直しも可能になってくる。まず何よりも交通アクセスを良くすること。これが最重要課題。そのカギをにぎるのが「日韓海底トンネル」だ。

実現すれば、日韓新幹線が東京→ソウルを走る。両国の観光バス、自家用車、商業トラックなどが行き交う。飛行機やフェリーだけの時代とは比べものにならないほどの密な交流が進むだろう。

いずれは北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）への乗り入れも可能となるに違いない。そうならば東京からピョンヤンを経由して北京までのドライブも可能になる。シルクロードをフリーウェイ化すれば日本から車でヨーロッパまで陸続きで走れるようになる。

そうなると世界が大きく変わる。所要時間は掛かるが内容の濃い旅行ができるので諸外国との交流が深まる。「ヨーロッパ連合（EU）」に匹敵する「アジア連合（AU）」の幕開けとして、ここは日韓両国の密な協力が必要だ。

●じつは戦前から計画はあった

ところで、日韓トンネルは今に始まったわけではない。実は戦前に計画はあったのだ。昭和10年（1935年）7月6日付の新愛知新聞には「朝鮮と九州を繋ぐ世界一の大通トンネル 工費15億円25年計画 内務省が『夢』の立案」という見出しが踊っていて、ご丁寧に担当技師のコメントも

九州～釜山ドリームブリッジ

WELCOME TO KOREA

원 영



日韓夢のかけ橋が完成すれば、リニアモーターカーで「日帰り焼き肉ツアー」もOK。

PART2

平成不況のどんよりムードをスカッと晴らす起爆対策とは？

で掲載している。その技師いわく「工事はドーバートンネルを開削するよりも簡単です」。けっこうマジに考えていたのだ。

この内務省とは別に、戦前の鉄道省が「亜細亜環鉄道建設計画」として日韓トンネルと北は北海道から海底トンネルでサハリンに上陸し、間宮海峡を埋め立ててロシア大陸に入るという壮大な計画を立てていた。敗戦により計画は実現しなかった。

●南北統一のキッカケにもなる？

戦後、日韓海底トンネルの本格的な研究を行ったのは建設会社の大林組である。同社は1980年、詳細な検討を行い、「80年現在の技術をもってすれば構想は十分に実現可能である」という結論を出した。

1980年当時の試算によると、工期は20年間で総工費は3兆円。現在なら4兆円はくだらない大プロジェクトとなる。韓国で日本の大衆文化の移入が解禁され、さらには2002年にはサッカー・ワールドカップの開催と、民間レベルでの人的・文化交流の勢いはここにきて一気に加速する気配。

W杯の日本における経済波及効果は3兆円に及ぶという

試算があるが、日韓海底トンネル開通となればもちろん3兆円どころではあるまい。しかも単発イベントではなく、恒常的な経済交流の太いパイプが確保される。

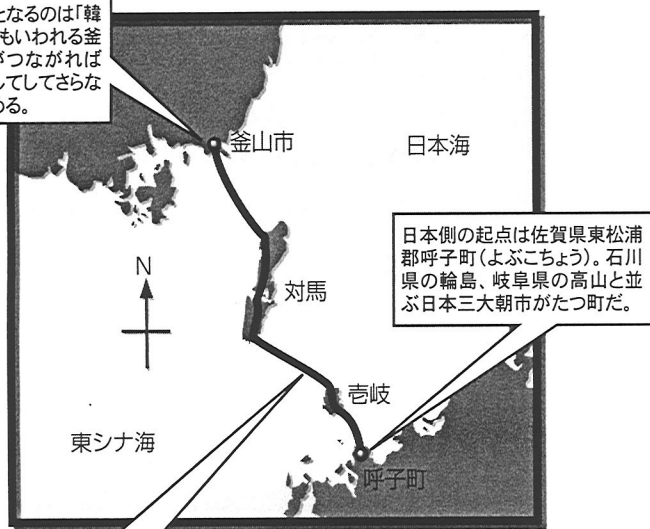
もし海底トンネルが完成すれば、開通時点で1日3万台、恒常的には4万台の車通行量があると予想されている。これだけの交通インフラができれば、壱岐と対馬が東アジア経済地域の一大拠点になる可能性すらある。

その海底トンネルを走るのはあのリニアモーターカーだ。現在、リニアモーターカーの実用化路線として、東京―大阪間を時速500キロ、約1時間で、結ぶリニア中央新幹線が計画されているが、これがさらに延長されて、海底トンネルを経て、韓国のソウルまで伸びれば、東京―ソウルが陸路約4時間で結ばれることになる。

ここまで日韓が大動脈で結ばれて緊密な文化・経済交流が飛躍的に高まれば、あの北朝鮮もオチオチとはしてはいられない。
日本という「西」の文化の加速度的な大陸流入の前では、テポドンだなんだと軍事的なデモンストレーションなど何の意味ももたなくなるばかりか、むしろ、南北統一のキッカケになるかも知れない。

●これが念願の日韓海底トンネルだ！

韓国側の起点となるのは「韓国の表玄関」ともいわれる釜山。トンネルがつながれば国際貿易港としてさらなる発展が見こめる。

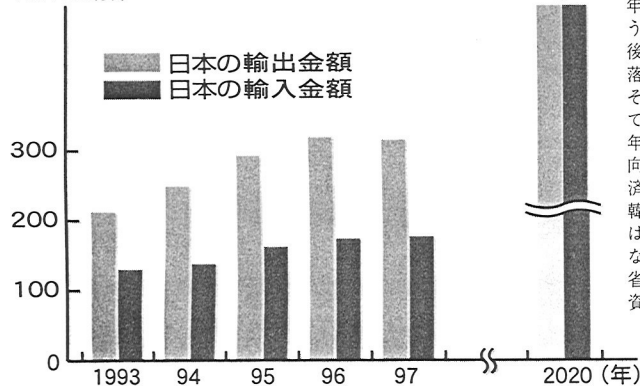


日本側の起点は佐賀県東松浦郡呼子町(よぶこちょう)。石川県の輪島、岐阜県の高山と並ぶ日本三大朝市がたつ町だ。

夢の日韓海底トンネル。朝鮮海峡の海底の地質は軟弱で、この区間の海底トンネルは、海底に支持架をつくりトンネルユニットを埋めるといった新しい工法が考えられている。

●めざすは2020年完成！ 日韓貿易収支もここまで拡大？

単位:100億円



日韓の貿易収支は前年度比の伸び率でいうと、バブル崩壊直後の1992年に大きく落ち込んだものの、その後順調に推移してきた。しかし1997年に再びマイナス傾向に転じている。経済の低迷にあえぐ日韓の起爆剤となるのは日韓トンネルしかない(グラフは通産省貿易局貿易調査課資料より作成)。

[著者紹介]

マッド・アマノ (パロディ作家)

○——1939年東京生まれ。東京芸大卒業後、家電販売会社に入社。広告・宣伝に従事。1974年退社後、フリーとなり米国にパロディの視察に向く。1978年、文芸春秋漫画賞受賞。同年、家族と共に米国に移住。約10年の米国生活の後、帰国。パロディ制作会社「ビッグバン」設立。週刊誌「FOCUS」の巻末を飾るパロディは創刊以来連載継続中。官僚の天下りを皮肉った「天下り新聞」を発行し話題を呼ぶ。住専への公的資金投入反対のデモを渋谷駅前で行ったり、エイズ訴訟早期解決を厚生省前で川田龍平氏、中村敦夫氏らと共にアピールするなどの行動を起こす。「パロディ的日本再生論」をテーマに全国で講演の旅を続けている。国際パロディ協会会長、日本カジノ学会理事、異業種交流会「UJEC」主宰。

○——主な著書に「パロディって何なのさ」(文春文庫)、「パロディ毒本」(新潮文庫)、「狂言の時代」(FOCUSパロディ傑作選)、「サンマーク出版」、『遊び商品USA』(日本生産性本部)、『アイデアが生まれる不思議なアメリカの話』(ダイナミックセラーズ)、『パロディ主義』(BNN) などがある。

日本再生グループ

○——マッド・アマノ氏による日本再生計画を具体的なプランとして構築するにあたり、データ収集、各方面への取材など側面的なサポートを果たすために結成されたシンクタンク。研究員、経済ジャーナリスト、フリーライターなど5人の常任メンバーのほか、数人のオブザーバーにより構成されている。今回のアマノ氏との共同研究を機に、今後も「日本再生」に向けた大胆なプランを提言していく予定。

マッド・アマノの日本再生33の大提言

<検印版止>

1999年3月27日 第1刷発行

著者——マッド・アマノ◎

発行者——境 健一郎

発行所——株式会社 かんき出版

東京都千代田区錦町4-1-4 西輪ビル 〒102-0083

電話 営業部: 03(3262)8011(代)

編集部: 03(3262)8012(代)

総務部: 03(3262)8015(代)

FAX 03(323)4421

振替 001002-62304

印刷所——大日本印刷株式会社

乱丁・落丁本は小社にてお取り替えます。
©Mad Amano 1999 Printed in Japan
ISBN4-7612-5770-9 C0095

マッド・アマノの 日本再生 33の大提言

マッド・アマノ 著
経済再生グループ 協力

奇想天外景気浮揚策

●うなだれた企業戦士たちの活力注入策 ●平成不況をスカッと晴らす起爆剤 ●ヒト・モノ・カネのミラクル有効活用法 ●シルバー銀ギザ作戦 ●人と地球にやさしいインフラ整備計画

未来的ビジネス発想



パチンコ電車で1000億円の経済波及効果!!
(朝読新聞より)

一生に二度の本気
この再建策は
パロディではない!!
佐高 信氏

Contents

- 提言 11** 元気出せニッポン! のシンボル スマイリーフェイス普及運動 58
↓1億2000万人全国民大運動を、官民こそって展開せよ
- 提言 10** ニッポンの未来はキミたちにかかっている! キッズ起業家養成講座 54
↓21世紀の日本経済を担う子供たちに、いまからビジネス感覚を!
- 提言 9** 地球環境と生命の尊厳を実感できる大自然博物館に
永田町を子供たちに明け渡せ! 国会議事堂跡テーマパーク「東京アースランド」 50
- 提言 8** ↓客室1000室、総工費800億円、年間収入450億円
ディカプリオ様も宿泊? 東京湾「ホテルタイタニック」 46
- 提言 7** ↓売上げ好調な新規格軽自動車メーカーと強力タイアップ
九州7県の経済を起爆させる 九州Kラリー 42
- 提言 6** 史上最大の極東大プロジェクト 日韓海底トンネル 38
↓総工費4兆円、W杯日韓共同開催をはるかに上回る経済波及効果

PART 2

平成不況のどんよりムードをスカッと晴らす起爆剤とは?

- 提言 5** もし「首切り」にあったら? リストラサラリーマンのための自己防衛策 32
↓熟年世代よ、いまからでも遅くない。独立開業の準備を急げ!
- 提言 4** 新丸ビルはアパートつきにせよ! 「職住隣接」開発計画 28
↓従来のオフィスビル発想を捨てて、街に活気を取り戻せ!
- 提言 3** ニッポン人の休みベタを改善せよ! 新「祝日」増設化提案 24
↓個人消費を刺激するには「お休みの日にレジャー」がいちばん!
- 提言 2** ↓首都圏の電車に導入するだけでも1000億円の売上げ
チンジャラ、チンジャラで気分も大フィーバー!! パチンコ電車 20
- 提言 1** 通勤圏拡大! 住宅取得意欲もかきたてる ラグジュアリー新幹線 16
↓遠距離通勤減税で900億円の新規住宅需要が見込める

PART 1

うなだれた企業戦士たちへの「活力」注入策

Contents

まえがき